

再取り付けキットを使用すると、潤滑剤の塗布が不十分な場合やシール部品がねじれる場合があります。性能に悪影響を及ぼすおそれがあります。交換キットのご使用をお勧めします。

キット内容

交換キット：

- ・ハンドル
- ・ロール・ピン
- ・プラグ
- ・Oリング (3個)
- ・スナップ・リング

注意：真ちゅう製プラグには PTFE 被膜 (グリーン) を、316 ステンレス鋼製プラグには PTFE 被膜 (グレー) を施しています。

Oリング・キット：
Oリング
(計3個、2サイズ)



図1

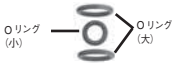


図2

手順

- ⚠ システムに取り付けたバルブのメンテナンスを行う場合には、必ず事前に以下の作業を行ってください。
- ・システム圧力の開放 (システムの圧抜き)
 - ・バルブの開閉
 - ・バルブのバージ

交換キットを使用する場合

1. スナップ・リング・プライヤーまたは同様の工具を使用して、スナップ・リングを取り外して廃棄します (図4参照)。ハンドルをまわして開状態にします。
2. ハンドルを持ち上げてプラグを取り外し、サブアセンブリー全体を廃棄します。
3. ボディ・ボア部のクリーニングを行い、シリコーン・ベースの潤滑剤を薄く塗布します。

4. 保護スリーブを未使用のプラグから取り外します。プラグをボディに真っすぐ押し込みます(図3参照)。

注意：ボディとプラグの間にOリングを挟み込まないでください。

5. スナップ・リング・プライヤーまたは同様の工具を使用して、スナップ・リングを取り付けます(図4参照)。
6. バルブのテストを行い、正常に機能することを確認します。

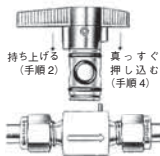


図3



図4

注意：ボディとプラグの間にOリングを挟み込まないでください。

Oリング・キットを使用する場合

1. スナップ・リング・プライヤーまたは同様の工具を使用して、スナップ・リングを取り外します(図4参照)。スナップ・リングは再組み立ての際に必要となりますので、別途保管しておいてください。ハンドルをまわして開状態にします。
2. ハンドルを持ち上げてプラグを取り外し、Oリングをプラグから取り外して廃棄します(図3参照)。
3. ボディ・ボア部のクリーニングを行い、シリコーン・ベースの潤滑剤を薄く塗布します。未使用のOリングの表面全体にもシリコーン・ベースの潤滑剤を塗布します。Oリングをプラグに取り付けます。その際、大きいサイズの2個のOリングをプラグの上部と下部に、小さいサイズのOリングを側面に取り付けます。
4. プラグをボディに真っすぐ押し込みます(図3参照)。

5. スナップ・リング・プライヤーまたは同様の工具を使用して、スナップ・リングを取り付けます(図4参照)。
6. バルブのテストを行い、正常に機能することを確認します。

この日本語版手順説明書は、英語版手順説明書の内容を忠実に反映することを目的に、製作いたしました。日本語版の内容に英語版との相違が生じないように、細心の注意を払っておりますが、万が一相違が生じた場合には、英語版の内容が優先されますので、ご留意ください。